

一泊ウォーク参加者による俳句の優秀作品をご紹介します。佐野 和彦先生に金賞・銀賞の各五句を選定して頂きました。

信州の鎌倉別所温泉と海野宿

一泊ウォーク

【金賞】

北向きに観音座していわし雲	佐野 恵子
秋風や強者達の真田丸	渡辺 えい子
安楽寺四方の梢に秋気配	塩川 守
安楽寺水面に映る初もみじ	西島 真砂子
紅葉にいまだ間があり八角堂	増田 敏幸

【銀賞】

秋風や藤村想いて千曲川	稲葉 百合子
ため池に写る山波秋の風	齋藤 昌子
天高く国宝ありき安楽寺	武田 理恵
信濃路をかけ巡りたる蕎麦の風	増田 春恵
野天風呂つかれをいやす秋の空	勝又 健治



作品の中で最も多く詠われた安楽寺にある八角三重塔(国宝)です。

信州の鎌倉別所温泉と海野宿

一泊ウォーク

佐野 和彦

舌切りし哀話の池や鳥渡る
八角の塔の水煙秋の雲
怪樹とも思う櫛や薄紅葉
水堀の無き断崖や城の秋
税もつ宿の屋並や秋暑し
巖壁にかかる御堂や秋の蜂



日高市巾着田曼珠沙華ウォーク

佐野 和彦

縁の無き高麗住宅や秋日和
狛犬に羊二体や初紅葉
そこここに毬の小山や栗畑
川幅の広き清流赤のまま
道沿ひの秋果並ぶる小商ひ
石のみの残る住居や秋の蝉
晴れやかに虹のパレード曼珠沙華
高麗峠かすかに聴けり残る蝉



富士山豆知識

その10

◆富士山の金剛杖は富士山自身をデフォルメした杖だった。

金剛杖は「歩こう会」の皆さんの中にも例会で愛用されている方もいますね。

当然諸説ありますが、デフォルメ(対象を変形して表現すること)した杖だそうです。その昔、富士講の食行身禄という行者にまつわる話です。この行者は物見遊山で富士山に登る風潮を嘆き、富士山の烏帽子岩で断食の末に死をもって人々の目を覚まそうとしたそうです。その行者の遺言に「八角の金剛杖を使って登るがよい」とあるそうですが、なぜ八角が良いかは説明がありません。八という数字の根拠は、富士山には8つの峰と8つの大きな沢があるという説(最近では9つの峰とされていますが)、裾広がり富士山は「八」という形である。このような理由から金剛杖は富士山を表現しているそうです

ちなみに金剛杖のお値段は、五合目で鈴付が1000円、鈴と旗付が1200円、焼印は山小屋で1回200円が相場だそうです。頂上まで焼印を押してもらおうと、はたして幾らになるでしょう。

あなたの好きな時間(じかん・とき・ほめん)なんでも結構です皆さんに教えてください。 広報部より

私の好きな時間

朝5時起床。諸々の仕事(といえるかどうか?)を終え自室に入り椅子に腰掛ける。

しゃん、しゃん、しゃん・・・とか、しえみ、しえみ、しえみ・・・

セミが激しく鳴きはじめる・・・暑い! 暑い! 暑い!

それこそ、うだるような一日の始まりである。

でもそんな時が私にとって一番幸せな時である。

そう、昔は暑い! 暑い!

「窓を開けろ!」よく親にそう言われた・・・

今は・・・「窓を閉めろ」である。

でもやっぱり暑い時は窓は開けなくちゃ・・・開けて涼しい風を入れセミの鳴き声を耳にする・・・これが一番!

時代移っても変わらない夏である。

稲葉 英樹

11月の事務所休業日

1日(日)	7日(土)	8日(日)	11日(水)
18日(水)	22日(日)	25日(水)	